

インターネット公示

「膠原病関連間質性肺炎における The COPD Assessment Test (CAT)の有用性に関する後ろ向き調査」に関しての公示

間質性肺炎は生活の質 (Quality of Life: QOL) を低下させることが知られており、QOL を客観的に評価することは治療効果を確認する上でも重要と考えられています。The COPD Assessment Test (CAT)というのは、患者さん自身に記入して頂く QOL に関する質問表であり、これまでいくつかの呼吸器疾患で有用性が示されています。膠原病は間質性肺炎の重要な原因の一つですが、膠原病関連間質性肺炎において、この CAT が有用であるかはこれまで分かっていません。

今回、2007年5月～2017年11月に当院で診断された膠原病関連間質性肺炎患者さんのうち、CAT を回答して頂いた方の診療情報を収集して調査を行います。この研究では、集計・解析に際して匿名化して情報を取り扱い、対象者の個人情報を厳重に保護しています。データ収集・解析期間は2018年11月までになります。上記に該当する方で、この研究についてのご質問や研究協力の拒否を希望される方がございましたら、お手数ですが公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科医師・鈴木淳（電話 0561-82-5101）までご連絡いただければ幸いです。

研究責任者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科部長 近藤 康博

研究実施者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科医長 鈴木 淳

研究協力者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科部長 木村 智樹

研究協力者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科部長 片岡 健介

研究協力者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科部長 松田 俊明